

序文

| | |
|-----|---|
| 雑誌名 | 心の危機と臨床の知 |
| 巻 | 6 |
| 発行年 | 2005-02-17 |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1260/00002527/ |



Konan Institute of Human Sciences

甲南大学人間科学研究所 (KIHSS) は、平成14年11月1日に開設されました。文部省 (当時) の学術フロンティア推進事業の助成を受けて行われた共同研究事業、「現代人のメンタリティに関する総合的研究——心の危機の臨床心理学的・現代思想的研究」(平成10-14年度)の研究体制と成果を引き継ぎ、より恒常的に研究を進めるために設立された研究機関です。平成15年からは、新たな共同研究プロジェクト「現代人の心の危機の総合的研究——近代化のひずみの見極めと、未来を拓く実践に向けて」を開始、文部科学省学術フロンティア推進事業に採択されました (平成15-19年度)。臨床心理学や精神医学といった心の危機に実践的に取り組む臨床の学と、現代思想などの人文科学諸分野が連携して研究を深め、現代人が直面する困難な状況を理論的に把握し、かつ能動的に関わることをめざしています。【心の危機と臨床の知】は、vol.1からvol.4までを上記研究事業の一環として甲南大学学術フロンティア研究室より刊行しました。vol.5からは甲南大学人間科学研究所紀要として継続刊行しています。

〈共同研究における7つのテーマ〉

トラウマ概念の再吟味 (森 茂起)

感性の変容 (斧谷 彌守一)

育てることの困難 (高石 恭子)

心理療法からみる現代の危機 (横山 博)

アメリカのあり方とグローバリゼーション (港道 隆)

性的差異の社会的未来 (上村 くにこ)

高度成長を生きた子どもたち——戦後効率主義の帰結 (港道 隆)

※ () 内はコーディネーター